

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ともい木	公表日 R8年 3月 24日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・職員体制や利用児に合わせ、グループ別に活動している。	・出席状況や出勤状況にもよるが、もう1人配置されると、より手厚くなると感じる。 ・安全に取り組めるよう課題に合わせて職員配置を行っているが、不足を感じることもある。 ・こどもの状態は毎日違い、その対応に追われてしまう他の子どもの把握が手薄になり、こども達の安全面が損なわれるため、改善が必要に感じる。 ・利用定員に対して、適切な配置ではあるが、こどもの状態などにより、余力が欲しいと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2		・毎日の清掃や消毒は行っているが、細かな部分まで行き届いていない。 ・延長でお預かりする日が多くなり、掃除後も利用児が過ごしていることが通常になっている。そのため、前日の汚れなどが持ち越してしまうことがあるため、改善が必要に感じている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・課題やこどもの状態により、部屋を分けることやパーテーションを使用するなどしている。 ・パーテーションなどを使用しての個別対応や相談室の利用など行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2		・現状、PDCAサイクルは行えていないと感じる。振り返り、その後の改善につながるような取り組みが必要だと感じている。 ・振り返り・情報共有の時間が不足していると感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		・業務改善に向け、会議を実施することもあるが、意見等話し合いを行う機会がないと感じている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・ケース会議を通して検討し、全職員へ回覧を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		・職員間での共有ができない事例もあるため、確認する意識が必要であると感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・把握できていないこともあるため、今後も継続して観察・対応をしていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・管理者が月案を作成し、それに基づきプログラムを設定している。	・大まかな活動を、月毎に管理者兼自発者が立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・その日の活動を、職員に確認している。(個別)	・開始前に必ず打合せは行っていない。 ・9:00出勤の職員への打合せなど、必ずとはいえないと感じる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	・時間の都合で出来ないが、空いている時間に気付いたことや活動の相談をしている。 ・必ずではないが、必要に応じて打合せを行っている。 また、全体で共有できるよう、引継ぎカレンダーを使用している。	・勤務時間の違いや延長対応等もあり、終了後に打合せは行っていない。 ・9:00出勤の職員への打合せなど、必ずとはいえないと感じる。 ・退勤時間が早いことで、支援終了後の打合せの参加ができていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・日誌・ケース記録への記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・連携が行える場合は、支援が行える体制が整えてある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・保護者等の希望により、図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4・不明1		・センターとの連携は、図れていない。必要に応じて取り組めるように検討。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5・不明1		・併用して地域の園を利用しているこどもはいるが、現状交流して活動する機会は設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・随時等、その日の様子などを伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			・親子参加日や勉強会などの機会を設けているが、保護者の参加率は決して良いとは言えない。保護者の意識が高まるような機会や内容を増やすなどの改善が必要と感じる。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・親子参加日やきょうだいを含めたイベント（夏祭り）などを行っている。 ・家族（きょうだいを含む）行事を開催（年1回）	・準備等、大変な部分は大きいですが、夏祭りは好評だったので、父母・きょうだいも参加できる行事の企画の検討。 ・特別支援学校へ行くこと、地域差はあるが保護者同士の交流する機会は大切になる（情報交換など）ため、就学前から保護者会などの機会があっても良いのではと思う。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・おたよりなどを発行。出入口に掲示している。	・おたよりの発行は行えているが、SNSの活用はできていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・外を歩いていると、畑に誘われることや声を掛けて頂いたり、子ども達は地域の中で育っていると感じる部分と開かれた運営部分の両方を感じる。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・現在は対象児がいないが、アレルギーのお子さんが利用していた際に行っていた、食後の手洗いは定着している。	・現在、対象児がいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			